

# 6年目の「島スクエア」の方針と活動報告

岡野内悟\* 岡宅泰邦\*\*

## Policy and Activity Report of the Sixth Year of “Shima-square”

Satoru OKANOUCHI and Yasukuni OKATAKU

### Abstract

Shima-square is an activity that aims to local revitalization by to train entrepreneurs have finished the sixth year. In this paper, we report on its activities. Policy of the Shima-square's management is implementation of the course, and support of graduates, and development of the next generation contribute to the local community. Activity of Shima-square can be considered to be within the limits of the existing local contribution. Therefore, if a load is not excessive, it seems that continuation of activities is also possible.

Key words: Shima-square, Policy of activity, Activity report, Local contribution, Continuation of activities

### 1. はじめに

「島スクエア」は、平成20年度文部科学省科学技術振興調整費事業、地域再生人材創出拠点の形成「山海空コラボレーションみかん島再生クルー」と題して採択されたプロジェクトの愛称である。このプロジェクトは人口減少と高齢化が進む地域で起業家を養成し、地域再生につなげようという取り組みで、地元の自治体や商工会など諸団体と協力して実施してきた<sup>1)、2)、3)、4)、5)、6)</sup>。5年間の補助金は平成24年度で終了したが、その後も周辺自治体や県からの支援を受け、規模を縮小して活動を継続し、プロジェクト開始から7年目を迎える。今回、島スクエア6年目、継続1年目の島スクエアの方針とその活動内容について紹介し、今後の島スクエアの展望について述べる。

### 2. 継続に向けての方針

平成24年に文部科学省からの補助金の最終年度を迎え、今後、運営費が大幅に少なくなった後も島スクエアをどのような形で継続するかについての方針について検討した。まず、考えたことはこれまでの島スクエアの活動で評価された点である。その中で、まず注目したことは、5年間で200名近い多様な修了生を輩出し、その50名近くが小さいながらも起業したこと。また、島スクエア修了生が起業支援や地域活動などを行うためのNPO法人を設立する方向で動き出していることである。ポイントとなる

のは、この地域でこれだけの数の受講生を確保できたことである。受講料が無料であったということもあるが、仕事を終えた後や休日に時間をかけて講座に出るのは簡単なことではない。また、講座での取り組みもまじめで出席率も高く、受講生の8割程度が修了している。この地域は高齢者の割合が高く、人口も少ない地域であるが、意欲的で誠実な方が想像以上におられる。このように意欲的な人の集まりであるから、情報交換会や特別講義、海の市、ふれあい市場など様々な島スクエアのイベントにも参加され、その中で受講生、修了生の結びつきが生まれ、NPO設立にまで発展してきたと考えられる。講座の内容も自らの起業を念頭に置いたものであるから、積極的な取り組みとなっている。すなわち、島スクエアとは、「起業や新たな事業展開を目指す意欲的な人が集まり、それぞれの得意とする能力を生かして結びつき、地域再生へつなげようとする取り組み」と考えることができる。

次に注目したことは、これからの地域を担う次世代の人材育成である。当初のプロジェクトの提案書には挙げていなかったが、その必要性から中間評価途中から追加され、地域の小中高校生、高専生を対象とした次世代の人材育成の形づくりを行い、高い評価を得た。

以上を踏まえ、継続後の島スクエアの方針として次の3つを柱とした。

1つ目は、意欲的な人を集めるため、無料で起業

や新たな事業展開へ結びつけるための講座を実施する。

2つ目は、修了生が起業や事業展開、地域活動を行えるよう、情報提供や適当な人と結びつけるなどのお手伝い（修了生支援）を行う。これは、修了生が立ち上げを考えているNPOと同じ方向性にある。

3つ目は、これからの地域の担い手となる次世代の育成につながる教育などを行うことである。

### 3. 活動内容

島スクエア6年目、平成25年度の活動日程について表1に示す。島スクエア活動の案内は、島スクエアホームページに掲載している<sup>7)</sup>。先の方針のとおり、活動内容は、講座の実施、修了生の支援、次世代の育成の3つに集約できる。月2回の

表1 平成25年度「島スクエア」の日程

日程	講座・運営	修了生支援	日程	講座・運営	修了生支援
4月	○講座予告		10月		
4月8日(月)	○開防大島町広報締め	NPO準備会議	10月6日(日)	5海6動画09:00	
4月19日(金)		NPO準備会議	10月7日(月)	島スク運営会議16:00	
4月22日(月)	島スク運営会議16:00		10月9日(水)	1Web基礎19:00	
4月26日(金)		NPO準備会議	10月10日(木)	1第2創業セミナー19:00	
4月28日(日)		安下庄海の市	10月16日(水)	2Web基礎19:00	
5月			10月21日(月)	島スク運営会議16:00	
5月7日(火)	島スク運営会議16:00	NPO準備会議	10月23日(水)	3Web基礎	
5月10日(金)		NPO準備会議	10月27日(日)	4Web基礎	安下庄海の市
5月17日(金)	郵送(受講説明会)	NPO準備会議	11月		
5月20日(月)	島スク運営会議16:00	安下庄海の市	11月2日(土)	商船祭楽しい科学スペース	修了生出店
5月24日(金)		NPO準備会議	11月5日(火)	島スク運営会議16:00	
5月26日(日)		安下庄海の市	11月6日(水)	5Web基礎19:00	
5月28日(火)	1受講説明会19:00	NPO設立総会	11月10日(日)	6Web動画09:00	
5月31日(金)			11月13日(水)	6Web基礎19:00	
6月			11月17日(日)		ふれあい市1周年
6月2日(日)	○講座開始○次世代案内		11月18日(月)	島スク運営会議16:00	
6月3日(月)	2受講説明会13:30	ふれあい市場	11月20日(水)	7Web基礎19:00	
6月9日(日)	島スク運営会議16:00	NPOふれ市会議	11月24日(日)	8Web基礎19:00	安下庄海の市2周年
6月13日(木)	3受講説明会19:00		12月		
6月14日(金)			12月1日(日)	7海8動画09:00	
6月15日(土)	4受講説明会13:30		12月7日(土)	①基礎集中9:30	
6月17日(月)	島スク運営会議16:00	安下庄海の市	12月9日(月)	島スク運営会議16:00	
6月18日(火)	島スク運営会議16:00		12月14日(土)	②基礎集中9:30	
6月23日(日)	島スク運営会議16:00		12月22日(日)	8動画補講13:00	安下庄海の市
6月25日(火)	1山19:00		1月		
6月27日(木)	2山19:00		1月6日(月)	島スク運営会議16:00	
6月29日(土)	3動画13:00		1月12日(日)		ふれあい市場
7月			1月18日(土)		NPO総会
7月2日(火)	○開防大島町広報締め		1月19日(日)	ものづくり技術13:30	
7月4日(木)	3島19:00		1月20日(月)	島スク運営会議16:00	
7月6日(土)	2山19:00		1月26日(日)		安下庄海の市
7月7日(日)	1海2動画09:00	NPOふれ市会議	2月		
7月8日(月)	島スク運営会議16:00		2月2日(日)	8海9動画13:00	
7月9日(火)	4島19:00	ふれあい市場	2月3日(月)	島スク運営会議16:00	
7月11日(木)	3山19:00		2月9日(日)	9海10動画(発表)	
7月14日(日)			平成25年度島スク17報告会	修了生情報交換	
7月16日(火)	5島19:00		2月18日(火)	島スク運営会議16:00	
7月18日(木)	4山19:00	NPOふれ市会議	2月23日(日)		安下庄海の市
7月22日(月)	島スク運営会議16:00		3月		
7月23日(火)	6島19:00	安下庄海の市	3月3日(月)	島スク運営会議16:00	
7月28日(日)			3月9日(日)		ふれあい市場
8月			3月17日(月)	島スク運営会議16:00	
8月4日(日)	5山10:00,3海4動画09:00		3月23日(日)	○広報(来年度)	
8月5日(月)	島スク運営会議16:00				
8月6日(火)	7島19:00				
8月8日(木)	1次世代				
8月16日(金)	2次世代				
8月18日(日)	6山10:00				
8月19日(月)	島スク運営会議16:00				
8月20日(火)	親子工作発明教室				
8月21日(水)	3次世代				
8月24日(土)	4次世代(修了)				
8月25日(日)		×安下庄海の市			
8月27日(火)	8島19:00				
9月					
9月1日(日)	4海5動画09:00				
9月2日(月)	島スク運営会議16:00				
9月5日(木)	7山19:00①	ふれあい市場			
9月7日(土)	1会計セミナー13:00				
9月8日(日)					
9月10日(火)	9島19:00				
9月12日(木)	7山19:00②				
9月14日(土)	2会計セミナー13:00				
9月15日(日)	8山(修了)10:00				
9月17日(火)	島スク運営会議16:00				
9月21日(土)	1財務セミナー13:00	安下庄海の市			
9月22日(日)					
9月24日(火)	10島(修了)19:00				
9月28日(土)	2財務セミナー13:00				

運営会議と各種の講座、修了生のNPOとの打ち合わせ、安下庄海の市、ふれあい市場など年間100件近い日程をこなした。運営会議のメンバは、本校の教職員、町の職員、商工会、修了生のNPOからの委員である。島スクエア活動の拠点、町から廃校の一部を無償でお借りして整備した「島スクエア起業教育研究センター」である。島スクエア起業教育研究センターは、島スクエアの講座、修了生支援・NPOの活動、地域教育の場として利用している。図1はNPO設立総会を平成25年5月に行ったときの様子である。



図1 NPO設立総会

### 3. 1 講座の実施

開設する講座は、起業のための基礎講座、商品開発の講座、体験型観光プログラム作成の講座、Webなど情報技術活用の講座の4種類と、それを補うために途中から導入した特別講義である。継続後はカリキュラムを見直して講師、時間数を減らして予算内で実施できるような形で行った。表2に平成25年度の講座と受講人数を示す。ほぼ例年どおりの人数が受講し、約20名が修了した。

表2 平成25年度の講座と受講人数

一般向けコース	修了数(人)
起業家養成基礎コース	10
商品開発起業コース	8
体験型観光起業コース	7
動画クエータ養成コース	9
延べ修了人数	34

講座・特別講義	受講数(人)
基礎集中講座	9
Web基礎講座	18
会計セミナー	20
財務セミナー	16
第2創業セミナー	5
ものづくり技術紹介	12
延べ受講人数	80

### 3. 2 修了生の支援

ここで扱う修了生の支援は、情報提供や修了生からの相談に応じたり、修了生の能力が地域で生かせるよう、お手伝いをするこゝである。そのため、修了生が中心になって準備を進め、平成25年10月にNPO法人「島スクエアプラス」が認可された。現在、このNPOと一緒に活動している。その一つが安下庄海の市とふれあい市場での実験店舗で、起業準備や商品のテスト販売、販売実習を行う実践の場となっている。安下庄海の市は地元漁協と地元の修了生が中心となり運営委員会を作り、毎月第4日曜に行って3年目を迎えている。図2は、安下庄海の市の実験店舗の様子である。また、ふれあい市場を2か月毎に島スクエア起業教育研究センターで、修了生と一緒に実行委員会として実施している。図3にふれあい市場での実験店舗の様子を、表3に昨年のふれあい市場での



図2 安下庄海の市の実験店舗



図3 ふれあい市場での実験店舗

表3 ふれあい市場での修了生の出店数

ふれあい市場	来場数(人)	修了生店/出店数(店)
ふれあい市場6月	326	11/37
ふれあい市場7月	202	15/38
ふれあい市場9月	189	14/32
ふれあい市場11月	714	17/54
ふれあい市場1月	357	17/30
ふれあい市場3月	368	13/28

修了生の出店数を示す。出店の約半分は修了生で、起業に向けた準備の場となっている。

また、修了生をつなぐ場として平成26年2月に、情報交換会を実施した。その様子を図4に示す。



図4 修了生情報交換会

### 3. 3 次世代の育成

少子化の進む地域に取って、教育の質の確保や「考える力」、「創造する力」を身に付けさせることは重要なことである。昨年行った次世代育成講座と受講人数を表4に示す。島スクエア次世代育成講座は高校・大学生向けの起業家養成の基礎講座で、本校と近隣の高校からの希望者を募り、夏休みに実施している。また、親子発明教室、島スクエアジュニア、こどもたちの科学スペースは、内容的に理科系・技術系の小中学生向けの出前授業や教養講座と同様なものであるが、地域教育や起業家マインドを育てる観点で近隣の小中学校へ案内し、実施している。図5は、商船祭のときに行われたこども達の楽しい科学スペースの様子である。高専ロボコンロボットの展示、実演も行われている。

また、学生の海の市、ふれあい市の手伝いは、次世代育成講座の修了生やボランティアとして学生が参加し、地域の人と触れ合う良い経験の場となっている。

表4 次世代育成講座と受講人数

次世代育成講座	受講数(人)
島スクエア次世代育成講座	8
親子発明工作教室	36
島スクエアジュニア講座(理科)	31
こども達の楽しい科学スペース	200から300
安下庄海の市での学生手伝い	毎回2人程度
ふれあい市での学生手伝い	毎回4人程度



図5 こども達の楽しい科学スペース

#### 4. 島スクエアの展望

現在、高等教育機関の役割として、教育、研究地域貢献が掲げられ、どの高専も地域貢献として公開講座や出前授業、特許や発明と絡めた産業の育成、学生のボランティア活動などを行っている。改めて島スクエアの活動を見直すと、従来からの高専の地域貢献を「地域」という切り口でまとめたものと考えることができる。講座の実施は高専が中心となって運営する地域ニーズに沿った社会人向けの公開講座であり、修了生の支援は修了生とNPOなど地域の人と取り組む産業の育成である。また、次世代の育成は地域を意識した子供向けの出前授業と学生向けの講演・講座を拡張したものである。さらに、有志の学生や科学技術を絡めたものとして、ヒルクライムレースの自動タイム計測の試みや、学生がタブレットパソコンを使って教える高齢者向けのパソコン教室など、高専の専門技術を地域に生かす機会も増えてきている。また、島スクエア講座の受講生募集や島スクエア関連の記事が本校周辺の1市4町の広報誌に掲載され、学校PRの効果も大きい。

一方、島スクエア運営で問題となるのは、運営費とスタッフの労力である。ご支援いただいている補助金は、起業家養成など講座の外部講師への謝金と島スクエア起業教育研究センターの管理費、ふれあい市場の運営費などに使われている。本校からは島スクエア起業教育研究センターの光熱費・通信費や教職員の労力を提供している。ある程度までなら予算に合わせ、講座の規模や修了生のNPOなどと作業分担して継続は可能と思われる。本校としてどの程度までの負担が妥当であるかが、課題となっている。地域貢献という切り口で考えると、既存の地域協力センターに組み入れることも視野に、検討が必要である。

本校はこの周辺地域に唯一の高等教育機関であり、研究面だけでなく地域人材養成への期待も高い。そのため、負担のかからない範囲で島スクエ

アを継続できればよいと考える。その際に重要となるのは、地域のことを考え、地域の方と真摯に向き合う姿勢や気持ちを持つことであろう。

#### 5. おわりに

本校と周辺自治体、地域の方々が、講座をとおして意欲のある人を集め、それぞれの能力を生かして結びつけ、地域再生につなげる取り組みを行っている。この取り組みも7年目を迎え、体制も整理されてきた。修了生の中には定年退職を迎え、社会経験が豊富で比較的ゆとりのある意欲的な方が多い。海の市やふれあい市場の運営、修了生のNPOの立ち上げなど、この方々のボランティアに支えられて今日に至っている。一方、本来ならある程度の安定収入が必要な20代、30代の若い修了生も増えつつあり、新たな展開も求められている。また、修了生も200人を超え、なお増加する修了生の支援をどうするかなど、課題も多い。

#### 謝辞

島スクエアの活動を支えるため、様々な持ち場で数多くの教職員や地域の方々が関わっておられる。皆様に敬意を表するとともに、心より感謝致します。また、本活動は周防大島町、柳井市、田布施町、平生町、上関町、周防大島町商工会を通じて山口県商工労働部のご支援、ご協力を得て実施しております。記して感謝の意を表します。

#### 参考文献

- 1) 大島商船高等専門学校：山海空コラボレーションみかん島再生クルー2008～2009年報, 2010.
- 2) 大島商船高等専門学校：山海空コラボレーションみかん島再生クルー2010年報, 2011.
- 3) 大島商船高等専門学校：山海空コラボレーションみかん島再生クルー2011年報, 2012.
- 4) 大島商船高等専門学校：山海空コラボレーションみかん島再生クルー2012年報, 2013.
- 5) 岡野内：商品開発起業コース最終年の方針と島スクエア起業教育研究センターの設立、大島商船高等専門学校紀要第45号、pp. 1-4, 2012.
- 6) 大島商船高等専門学校：みらいへ架ける「島スクエア」会報誌 Vol. 2, 2012.
- 7) 大島商船高専「島スクエア」トップページ：  
<http://www.oshima-k.ac.jp/shima-sq/>